

## 11303光学機械・レンズ製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2017	12	10~11	天井開口窓に梯子を掛け、天井裏に設置の給排気設備の点検を実施した。点検終了後、梯子に足を掛け降りようとした時、開口窓がボードと枠ごと破損し、作業者が梯子もろ共、約3m下の床に落下した。	39	1	418	50~ 99
2	2017	12	14~15	洗浄作業を行うため、切断したガラスインゴットを2人でばらす作業を行っていた。切断したガラスインゴットを固定用専用板の端まで2人でずらす際、被災者がバランスを崩し、専用板の端からガラスインゴットがずり落ちた時に、鋭利になっている切断面で負傷した。	38	8	529	300 ~ 499
3	2017	11	16~ 17	当社、大型タンデムプレスライン作業場において、パレット（890mm×1000mm×1180mm）の中のブランク材（1枚の重さ4.9kg）をまっすぐに立てるためパレットの手前に並べたところ、パレットが倒れて来た。その際、左足を負傷したものである。	35	6	231	1000 ~ 9999
4	2017	11	9~ 10	表面処理加工場において、点検業者が床下の点検を実施していた際、床下に潜る為に外したグレーチングが元の位置に正しく納まっていなかった。その状態を知らずに被災者がその上を歩き、グレーチングが外れ、足を踏み外してしまった。その時、左足甲を強打し第二指付け根を骨折してしまった。一日様子を見たが痛みが治まらなかった為、翌日の受診となった。	62	3	418	1000 ~ 9999
				勤務場所のバックヤードに、保管してあった台車を取りに行っ				

5	2017	9	15～ 16	た時、照明が故障中で全く視界がなく、廃棄物の一時置き場としていたバックヤードの場所に、破いたポスター（廃棄物）が置かれていた上に足を乗上げて転倒し、後頭部を強打した。極めて軽度の内出血が認められるが、それ以外は特に異常なし。医師からの指示で、安静のため入院となった。	62	2	416	1000 ～ 9999
6	2017	6	11～ 12	作業場内を歩行中、通路上にあった扇風機の足に躓いて転倒した。	39	2	379	100 ～ 299
7	2017	6	16～ 17	会社終業後に自転車で帰宅しようと、西門のセキュリティセンターに社員証をかざそうとリュックから取り出そうとした時に、バランスを崩して転倒した。転倒した際に、ハンドルに左胸を強打した。	32	2	231	1000 ～ 9999
8	2017	5	16～ 17	旋盤作業時（雇製作中）に10kg程度の材料を雇に取り付けようとしたが内径が小さく入らなかった。作業中、材料を落しそうになりとっさに右手を伸ばしたが、重みで体勢を崩し腰を痛めた。	37	19	521	50～ 99
9	2017	5	17～ 18	蒸着室内の洗浄機近くで、洗浄機内の使用済みイオン交換樹脂ボンベ（約50kg）を交換する為、ボンベを手で台車にのせようと片膝をつき、しゃがんで持ち上げる時、腰に激痛を感じ動くのが困難な状態になった。	42	19	611	100 ～ 299
10	2017	4	9～ 10	被災場所より15メートル程離れた場所で、王水廃液（硝酸・塩酸1:3の混合液）をまとめて移し変える作業が行われていた。被災者は室内にて作業中臭気を感じて屋外へ出た際に、風で流された王水廃液の蒸気の風下に位置してしまった事で蒸気を吸ってしまい、激しく咳き込んだ事で気管入口の縦隔気腫を引き起こした。	19	12	514	100 ～ 299
11	2017	4	12～	事業所建物内階段を急ぎ足で下っていた際、足を滑らせ後ろへ	23	1	413	300 ～

			13	転倒し、階段に腰部及び肘を打ちつける。					499
12	2017	1	9～ 10	当社工場内カット室にて、プラスチックシートに手を添えて裁断していたところ、シート先にある当て木が滑り、シートが奥に入ったため、添えていた手が通常よりも奥に入り、シートをカットする刃で左手中指の先を切った。	36	8	169		50～ 99
13	2016	12	22～ 23	接合工程の芯出し作業をしている最中に貧血を起こしてしまい、後ろに倒れ込む際に後ろに設置している作業台の角に腰をぶつけてしまい、腰を痛めた。	50	3	419		100 ～ 299
14	2016	10	14～ 15	工場内において、工場の中へスズメバチが入ってきた為、外へ避難しようとした時に転倒して、ゴミ箱とイスに足をぶつけて負傷した。	59	2	719		1～9
15	2016	8	12～ 13	長時間労働及びプロジェクトリーダーとなったことによる精神的負荷により、自殺した。	38	90	921		300 ～ 499
16	2016	6	11～ 12	工場内の片付け作業中に、水冷ホースが上に重なり見えづらくなっていた40cm四方の水抜きマスに左足が落ち、足を抜こうとした際マスから突起している満水感知センサーが付いた金属板にひざ下部分がささり負傷した。	34	8	391		30～ 49
17	2016	6	15～ 16	構内通路歩行中、前方にいた作業者を避けようとした際左足を滑らせ右膝を床に強打した結果、骨折した。	46	19	417		100 ～ 299
18	2016	2	16～ 17	無人搬送車をまたいだ際に、つま先が無人搬送車と接触し転倒し右膝を強打負傷した。	55	2	416		500 ～ 999
19	2016	1	14～ 15	通路にて休憩に行く際急ぎ足となってしまう、転倒した。	44	2	416		500 ～ 999

20	2016	1	10～ 11	工場内において、被災者は工場内レンズ検査室の時計の電池を交換するため置いてあった机の上に乗った際、机上のスペースがなかったためバランスを崩し机上端から転落し、右手首を受傷した。	56	1	391	10～ 29
21	2016	1	11～ 12	FPD露光装置の設置作業中に、プレートステージとメカストッパーとの間に右足の甲が挟まれた。	30	7	169	1000 ～ 9999
22	2016	1	11～ 12	鋳金場内作業室へ向かい歩行中に、正面から移動してきた台車をよけようとして片足を上げたところ、バランスを崩して転倒し、後頭部を強打した。	64	2	417	100 ～ 299
23	2015	12	7～8	油を一斗缶に入れ、コックンを取り付けて樽にした状態で使用していた。取り付け部の一斗缶の劣化により、6?程度の油が、夜中から朝にかけて漏れて床に広がっていた。始業前の時間でもあり照明をつけなかったため、床の状態も判らず上を歩いてしまった為、滑って転倒した。	58	2	417	50～ 99
24	2015	11	10～ 11	受入検査エリアで、パレット上の部品をキャスター付き台車に移そうと、中腰の姿勢で押した際、ダンボール箱がスムーズに動かず、腰に無理な力が加わり腰を痛めた。	51	19	611	1000 ～ 9999
25	2015	11	8～9	タバコを吸い終わった後に、喫煙場所の出口を出て扉を開けて外に出ようと踏み台の板の上に足を置いた瞬間に、踏み台に乗せた足が滑り、そのまま背中側から転倒した。	60	2	419	100 ～ 299
26	2015	10	11～ 12	マシニングセンターでの金属部品加工で、部材の供給作業を行っていた。作業中、突然倒れ、頭をぶつけた。	45	3	921	100 ～ 299
27	2015	9	18～ 19	工場眼鏡部品の製造加工作業をしているとき、テンプルの型合わせを行っていて、補助者に押さえてもらい、被災者が両手押しボタンを押した処、被災者の両手指先にプレスが下りた際当たり、右手人差指、左手中指薬指を負傷した。	28	7	154	50～ 99

28	2015	9	16～ 17	完成品を架台に搬入する際、架台に軸が完全に装着していなかった事に気づきスペーサーを手で動かそうとした際、左手が軸と架台の間に挟まれてしまった。	43	7	521	100 ～ 299
29	2015	6	1～2	薄膜加工製品の治具を洗浄作業中、引火性の液体（IPAイソプロピルアルコール）槽より出火し、消火作業を行ったが、作業服に引火し熱傷を負う。	34	16	512	50～ 99
30	2015	6	9～ 10	部品準備においてマグネットの員数確認を行うために同僚が頭上まで持ち上げた際、部品を本人が見上げたところ、突然目眩が襲い、床に倒れかけた時に、部品準備用の運搬台車に左目上部をぶつけ出血した。	51	3	362	100 ～ 299
31	2015	4	16～ 17	バレル作業で移動中、床上に這わせているバレル排水ホースを踏んでしまった為、体のバランスを崩し、全体重が左足にかかり、左足を挫き骨折した。	56	2	379	300 ～ 499
32	2015	3	19～ 20	帰宅時に、工場のゲタ箱の前で上履きからスニーカーに履きかえようとして、右足を履きかえ、左足を履きかえようとしてスニーカーを履く時、左足をくじいて骨折した。	48	19	921	50～ 99
33	2015	3	14～ 15	作業台近くの棚に治具を取りに行き、戻ろうとした際、通路近くのキャスター付き台に積み上げられていた部材の入ったコンテナに引っかかり、崩れて来たのを防ごうと右手を出したところ、コンテナの下敷きになった。	34	5	611	100 ～ 299
34	2015	3	8～9	工場内の1階フロアの通路を歩いていた時、足がもつれて転倒してその時床に頭を打ち負傷した。	52	2	417	30～ 49
35	2015	3	17～ 18	事務所にて、荷物を運んでいる際に（小包程度の大きさ）、足を滑らせて転倒。	88	2	417	—
36	2015	3	11～ 12	工場内において、塗装前の下処理した部品が汚れないようにカバーを掛けるため、ビニールの袋を取りに行く途中、誤ってテーブルの脚に左足をひっかけてよろけて倒れ、右手甲を床に	62	2	416	10～ 29

				つき右手首を骨折負傷した。				
37	2015	2	13～ 14	手待ち時間を利用して製品の水切りの練習中、湯洗を使う作業が始まり、指導係が薬品槽から湯洗へと製品のついた治具を移動し、湯洗から治具を引き上げる作業だけを本人に依頼したが、ゴム手袋を外していたことを忘れていて、そのまま湯洗に手を入れた為、熱傷を負った。	38	11	514	100 ～ 299
38	2015	2	14～ 15	ダンボール箱から製品を出した後、空箱を2個持ち、運ぼうとした時、重心が後ろに傾きバランスをくずし転倒した。その時に右手をつき負傷した。	56	2	416	100 ～ 299
39	2015	1	12～ 13	工場玄関付近で、掃き掃除を行なっている時に、降った雪が凍結している場所を歩いてしまった為、右手に箒を持ったまま転倒、尻もちをついた時、身体を支えようと左手を路面につき、その後、後頭部を打った。	74	2	417	50～ 99
40	2014	12	10～ 11	台車で製造エリアに部品を供給した後、専用空箱台車にて空箱を回収し製造エリアから物流エリアへ台車を押して戻る際、製造出入り口にて曲がった際、右足に負荷がかかり痛みが走った。一旦、空箱台車を通路に置き再度製造エリアへ部品供給台車を取りに行く際、さらに歩行途中にて痛みが走り通常歩行が出来なくなった。物流倉庫に戻った時点で課員Aが被災者の異変に気づき食堂まで運びその後帰社した。	57	19	921	100 ～ 299
41	2014	12	11～ 12	研究所内の2階に部品箱2個（合わせて4kg）を運ぶために同A棟4階居室から出て、中央通路の東側扉を開けるため、部品箱2個を床に置こうとしたところ腰に痛みが走った。	25	19	921	1000 ～ 9999
42	2014	10	9～ 10	塗装工具を外通路を利用して隣の職場へ取りに行ったところ、自分の職場（屋内）に戻る際、職場入口の通路で右手に工具を持ったまま左足が前へ滑り、そのまま右足へ体重がかかり右足を負傷した。外通路は水モップ清掃の拭き残りがあり安全靴底部に水滴がついて滑りやすくなっていた。	36	2	417	300 ～ 499

43	2014	10	7~8	構内道路を出勤のため歩行していたところ、左後方より車両が追突して、首、左腕、左足首を負傷した。	52	2	231	500 ~ 999
44	2014	9	14~ 15	ターニングセンタ加工機掃除の為、3段の踏台（一段の高さ約30cm×3段=90cm）に上り作業を行った後、踏台上段から直接床に降りようとして、足を捻ってしまい、右足首を骨折した。	56	3	417	50~ 99
45	2014	8	10~ 11	ブローチ加工機にて加工ユニット調整後、工具を片付けようと機械周辺を移動していたところ、加工機下部にあるレール部で足を滑らせ転倒、加工機の踏台の角に右腕が当たり裂傷した。	38	2	419	500 ~ 999
46	2014	5	13~ 14	工場内でカッターを使いダンボールを切断していたところ、切断面の凹凸にカッターの刃が引っかかり、左手を負傷した。	29	8	364	30~ 49
47	2014	4	22~ 23	工場内に於いて、加工品入りの段ボール箱（22Kg）を作業台から保管棚へ移す際に、棚の1段目の高さ（143cm）まで持ち上げたところ、腰を骨折した。	38	19	921	30~ 49
48	2014	2	7~8	会社構内にて出勤中、雪に滑り転倒し負傷した。	46	2	719	100 ~ 299
49	2014	2	12~ 13	工場間にある渡り廊下の屋根の除雪作業のため、屋根に登る途中、ハシゴの3段目から滑って転倒し右腕をけがした。	40	1	413	100 ~ 299
50	2013	12	15~ 16	屋根の上でエアコン金具を取付中、体のバランスを崩し、金具に肋骨を強打した。	55	2	415	10~ 29
51	2013	11	22~ 23	内打上げを行っている際、店内の階段にて、バランスを崩して転落し、大腿骨を骨折した。	33	1	413	1000 ~ 9999
52	2013	7	15~	レンズを運搬中、研削機の回転ネジに袖口が絡まった為、腕を	31	7	169	50~

			16	負傷した。				99
53	2013	3	9～ 10	研磨機のある通路を移動している際、パイプに足を滑らせ、転倒した。	43	2	417	50～ 99
54	2013	1	14～ 15	旋盤加工中、機械が止まるトラブルが発生した為、点検口の扉を開け、回転軸のプーリーに触れたところ、回転していたプーリーとVベルトの間に手を巻き込まれた。	47	7	151	100 ～ 299
55	2012	11	12～ 13	レンズを注入する作業場所にて、作業が完了した物を専用の台車に入れた際、棒に付いた番号プレートが台車の下に落ちた為、取ったところ手小指のつけ根を台車の底に当て、第5中手骨を骨折した。	37	3	379	1～9
56	2012	10	10～ 11	レンズ加工のために機械立ち上げセット中、調整のためデスクに移動し再び戻る際、ポリ容器に足を引っ掛け、分離機本体の角に膝をぶつけ転倒し、眉間をレンズ置場の台にぶつけた。	64	2	611	10～ 29
57	2012	9	11～ 12	工場と工場の間にある敷地内道路にて、眼鏡枠を手に持ち運んでいた際、側溝の蓋と道路との段差に足が引っかかり転倒。膝を強打した。	56	2	417	30～ 49
58	2012	8	22～ 23	倉庫3階へ梯子を登り、原料を持ったまま、梯子を降りようとしたところ、梯子がバランスを崩し、近くのパイプを掴んだところ、パイプが外れて梯子と共に後方へ転倒し、頭部を床で強打した。	52	1	371	50～ 99
59	2012	8	11～ 12	中心部に穴が開いたゴム栓にガラス器具を差し込む作業中、片手にゴム栓、もう片方の手にガラスロートを持ち、ゴム栓の穴にガラスロートを差し込んだ際、穴が小さく、無理にガラスロートを入れようとしたところ、ガラスロートが割れ、手親指に当たり、裂傷した。	29	8	379	50～ 99
60	2012	8	16～ 17	切り屑圧縮機の清掃作業を行なう為、柄付ホウキ等を使用せず、電源を落とさず、手を入れ、作業をしたところ、誤ってリ	47	7	169	10～ 29



				ミットスイッチに触れ、上蓋に挟まれた。				
61	2012	3	18～ 19	忘れ物を取りに行くため歩行中、後方よりトラックが走ってきた。トラックが横を通り過ぎる際、荷台が被災者の肘から肩にかけて当たった。	43	6	221	500 ～ 999
62	2012	3	15～ 16	テント倉庫内にて、ケース有無の確認作業中、ラックに立て掛けた長梯子を降りていたところ、長梯子がズレ落ち、床に落下し負傷した。	58	1	371	500 ～ 999
63	2011	12	12～ 13	休憩所で昼食を済まし、弁当箱を自分の乗用車へ持って行こうとした時に、駐車場に雪が積もっており、足が滑って転倒し、右足くるぶし辺りを負傷した。	61	2	416	1～9
64	2011	12	9～ 10	トラックヤード（地面から約1.2mの高さ）において、梱包されたコンテナ（約5kg）を持って、パレットに移している際、過って踏外し、コンテナと一緒にコンクリートの地面に転落した。	46	1	611	100 ～ 299
65	2011	12	10～ 11	1階工場が多軸NCフライス盤の段取り中に、治具の六角ボルトをはずそうとしたところ、すべて大角レンチがはずれて治具の上方にあるエンドミルに右手母指関節付近を打ちつけて、腱を切ってしまった。	32	3	152	30～ 49
66	2011	9	10～ 11	派遣先にて、レンズの加工研磨機械オペレート中、仕上がったレンズを取ろうとしたが中々取れず、手間取っている間に機械が稼働し、機械の爪と研磨盤の間に右手中指を挟み、受傷した。	36	8	169	300 ～ 499
67	2011	9	8～9	当社作業場で、眼鏡修理の為、丁番部分ネジを、ドライバーで回す際、ドライバーの先端が滑り、左示指を突き刺した。	22	8	364	30～ 49
68	2011	9	13～ 14	工場内において、製品を洗浄液で洗う際、保護用のゴム手袋に穴が開いていたため、手袋内に洗浄液が染み込み受傷した。	22	12	514	10～ 29
				現場にてエアガンの元栓解放作業中、近くの台及び棚に足を掛				

69	2011	8	9～ 10	けて元栓レバーに手を掛けようと伸び上がったところ、右膝の関節が外れ（ズレ）た。直後に戻ったが、関節内骨折を負っていた。	30	19	391	30～ 49
70	2011	8	12～ 13	昼食後、地下に通ずる階段を降り始めたところ、上から4～5段目で左足を踏み外し強打。左足踵上部に激しい痛みを覚え、S病院にて治療を受け、骨折が判明した。	21	2	413	50～ 99
71	2011	7	10～ 11	職場材料倉庫に於いて、コイル材の在庫を確認しようと材料上部（高さ25cm）を移動してしまった為、バランスを崩し床に足をついた際、コイル材を保管する専用パレットとパレットの隙間に足が挟まり、抜こうと足に力を入れたところ、右足アキレス腱を断裂してしまった。	37	19	521	500 ～ 999
72	2011	5	17～ 18	（株）A（A市）工場内に於いて、工場機器（形成機）のエラーを知らせるアラーム音を止める為、検査台から慌てて当該形成機に向かった際、左足首を捻り動けなくなった。診断の結果、左足甲側部骨折等であった。	30	19	921	1～9
73	2011	5	11～ 12	工場内でカメラのレンズを拭くため、綿棒でハンドラップを叩いた際、キョーワゾールが飛散し右目に入った。	18	12	514	1000 ～ 9999
74	2011	3	19～ 20	工場内で、加工で出た端材を片付ける作業中、厚さ38mm×幅350mm×長さ550mm、重さ約20kgのアルミ材を2枚持って運ぼうとしたところ、誤って、躓き、前方に転んでしまった。その際、材料のバリで右手の手の平、長さ10cm、深さ1cmぐらいを切ってしまった。	22	2	521	10～ 29
75	2011	2	17～ 18	社内階段を移動中（下っている最中）、階段を踏み外し左脇腹を痛打した。	60	1	413	30～ 49
76	2011	2	7～8	弊社構内駐車場に駐車をし、車に鍵をかけ更衣室に移動しようと車を離れた際、鍵がロックされたかどうか助手席ドアで確認しようとした時、道路が凍結していた為、足を滑らし、転んで	40	2	417	500 ～

				しまい、左大腿骨を骨折してしまった。				999
77	2011	1	17～ 18	当社工場内において、当社従業員Aは、マシンニングセンター（眼鏡部品切削機）で作業中、センター内の治具から加工済み部品を取り出し、新たに部品をセットし、稼動スイッチを入れた後、たまたま部品入替時に治具下のセンサー安全カバーの上 に落とした加工済み部品を拾おうとした際、回転作動始めたタ ンテーブルのセンサードグと安全カバーの間に左手中指が挟ま れ負傷した。	27	7	159	10～ 29
78	2011	1	13～ 14	被災者は、当工場内においてプレス機にて作業中、製品を金型 に置いてから手を抜ききる前に誤ってフットスイッチを踏んで しまい、右環指を挟まれ負傷した。	32	7	154	1～9
79	2011	1	14～ 15	めっき加工工場にて、乾燥のための製品をラックにセットして いたところ、誤って製品に手をひっかけてしまいその際、落下 した製品が左手上に接触受傷した。	36	8	529	100 ～ 299
80	2011	1	14～ 15	工場の屋根から出っ張った雪を落とそうとして脚立に上がり、 スコップで横から突いていたところ、出っ張った雪が落ちた瞬 間に屋根にたまった雪が滑り出し、脚立側に落ちてきた。脚立 が倒れかかったため、飛び降り、左脚の股関節を脱臼、骨折し た。	40	1	719	50～ 99
81	2010	12	8～9	(株)A内102号棟西側入口より通路を通り抜け東側出口付近に近 づいたところ、大雨による影響で歩行者の靴についた雨水が運 び込まれ濡れていた床で足をすべらせ尻もちをつく形で転倒し た。痛みはあったが午前中は仕事を行ったが、痛みが増してき たため、医療機関を受診した。	32	2	417	300 ～ 499
82	2010	11	11～	A1ルーム内において、ファイバー溶解時の坩堝に使用する白金 材料をフッ酸処理後、白金板を水洗浄中に洗浄槽の底に白金板 が密着してしまい厚手の耐酸手袋では取れなかったため、薄手	36	12	514	100 ～

			12	の耐酸手袋で作業した際手袋が白金板に引っ掛かり破れてしまい流水が指に付着してしまった事故。直ちに専用の塗薬の処置をし、翌日赤みを帯びたため受診。					299
83	2010	6	17～ 18	仕事を終え、ロッカーへ向かう途中の階段を降りる際、ウキウキ気分以小走りに降りていた所、踏み外し左足踝と小指の間を骨折した。	19	1	413	300 ～ 499	
84	2010	5	4～5	ガラスを研磨する機械の上に乗せてある1個7Kgの錘を取り外す作業をしている時に、腰を痛めた。※錘（おもり）	28	10	521	100 ～ 299	
85	2010	4	13～ 14	工場の組立エリア内で、リニアステージ・リニアシャフトを取りはずす作業中、別のシャフトが別途取りはずされて机の上にあった状態のまま、取りはずした。もう一本のシャフトを同じ机の上に置いた瞬間、強力な磁力が働いて、シャフトが吸引されて、その間に右手中指を挟まれ骨折した。	31	7	379	100 ～ 299	
86	2010	1	13～ 14	A町の当社工場内に於いて、レンズ研磨機の修理作業中、プーリーのベアリング交換が終わり、身体を前のめりの体勢でプーリーにベルトを掛けている時、はずしていたプーリーのカバーに付いている電源スイッチに右膝が触れ研磨機が作動し、右手の軍手がプーリーとベルトに巻き込まれ、右中指と右薬指を負傷したもの。	57	7	169	1～9	
87	2010	1	9～ 10	高さがある蒸着連続機のため、3段階を使ってレンズの入れ換え作業をしていて、上段から降りる際誤って右足を滑らせ落下し、左肘を負傷したもの。	30	1	413	100 ～ 299	
88	2009	11	16～ 17	事業所のクリーンルームにおいて、製品の組立作業をしていた。作業中、4人で床面に置いた重量物（約100kg）の4隅を持ち上げ、高さ約90cmの場所に設置する作業をしていた時、被災者が腰を痛めた。	61	19	391	50～ 99	
				工場の研磨室において、シンク脇の作業台で、製品が貼られて					

89	2009	10	20～ 21	いるワーク皿側面の水洗い作業中、洗う面を変えようとして皿を回したところ、角の鋭利な部分が左手に当って切傷した。	24	8	529	50～ 99
90	2009	7	11～ 12	工場内において、眼鏡用テンプルの姿削りをしている時に、その作業をするための腕擦り機を使用中に、削れた品を取る際、安全確認を怠り、左手指を回転している歯に接触させ、3指を切傷した。	25	8	159	10～ 29
91	2009	5	10～ 11	工場内研磨室で、乾燥機に挿入するため、研磨後の空カセットをコンベアの所定の位置に置き、手動でコンベアを始動させたが、カセットが斜めになっている事に気付き、咄嗟に直そうとして、搬送途中の空カセットに手を出し、カセットと乾燥機入口に右手指を挟まれ負傷した。	18	7	159	50～ 99
92	2009	5	7～8	トラックヤード（空箱回収エリア）で、1人で清掃中に（くもの巣取り）、脚立から足を滑らせて転落し、頭部（ヘルメット未着用）を強打した。	41	1	371	500 ～ 999
93	2009	4	7～8	朝の通勤で、事業場内の歩行路を通行中に、滑って転倒し足首を骨折した。歩行路は事業場敷地内であるものの車道と区別する為に緑色に塗装されている。また当日は前日の雨により路面が濡れていた。	47	2	417	1000 ～ 9999
94	2009	4	0～1	被災者は光学機械の研磨工である。ブロックに水貼りするために加工中の製品を押し付けたり、3本の指で強く挟む動作など、親指を支点に力を入れる作業、又、水貼りの状態を確認するために机などにブロックを置き、正面から覗き込むような体勢でブロックを両手で抑えながら目線を下げて作業するため肩に負担がかかる。この作業に10年程従事し、以前より痛みがあったが、それが激しくなって病院で診察を受けた結果、指と胸の損傷と診断された。	47	19	921	100 ～ 299
				レンズ検査終了後、小型の2段式台車にレンズ収納箱を乗せて				

95	2009	3	21~ 22	所定の保管場所へ搬送中、床面が縞鉄板に変わって台車が停止しそうになったため、力を入れて台車を押すために左足を勢いよく前に出したところ、台車左側コロのストッパー部分に左足が当たり、左足の指を負傷した。	42	3	911	10~ 29
96	2009	2	13~ 14	プレス作業場で、300t油圧プレスを使用し眼鏡枠の部品のプレスをしていた。プレスした部品を取り出そうとしたところ、プレス機が突然作動し、すぐに左手を引込めたが、左手指が挟まって、負傷した。安全装置は切った状態で、スイッチの変更等が複合した。	62	7	154	50~ 99
97	2009	1	11~ 12	自動テーピングマシンで検品中、エラーが発生し後ろに回ろうとした際、横にあったコンテナボックスにぶつかり転倒した。	59	3	611	50~ 99
98	2008	12	8~9	大掃除中、椅子の上で蛍光灯の掃除をしていた際、誤って落下し、左手を負傷した。	57	1	391	50~ 99
99	2008	12	11~ 12	資材置場の棚に梯子をかけ、片手にダンボールを持ったままの状態を下りてくる時、梯子を踏み外して落下し、コンクリート床面に後頭部を打撲した。	66	1	371	50~ 99
100	2008	10	9~ 10	レンズ加工工程にて、レンズの溝に七宝を入れ、色漏れを拭き取る作業中、右手首に負担が掛かり、受傷した。	29	19	911	10~ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。